

浦添市てだこホール開館10周年感謝企画として
「白石光隆ピアノレクチャーコンサート」を開催いたしました。
ご好評頂きましたので、皆様へご報告いたします！



9月21日にピアニストの白石光隆氏をお招きし、練習室1で「てだこホール開館10周年感謝企画 白石光隆ピアノレクチャーコンサート」を行いました。この企画は、これまでてだこホールをご利用くださったピアノ教室の生徒・先生へ参加を呼びかけたもので、白石氏の解説でピアノの構造や弾き方を学び、演奏面だけではない、ピアノと言う楽器と音楽をより深く掘り下げて感じていただく内容となりました。



平日の夜の時間にも関わらず、32名のお客様が足を運んでくださいました。ホールで演奏会を聴く際と違い、演奏者と客席がとても近く、ピアニストの一つ一つのアクション、音色を間近で感じられる距離感でした。

白石氏の醸し出す温かな空気が会場全体を包み、お客様も普段のコンサートの緊張感とは違い、とてもリラックスしていました。

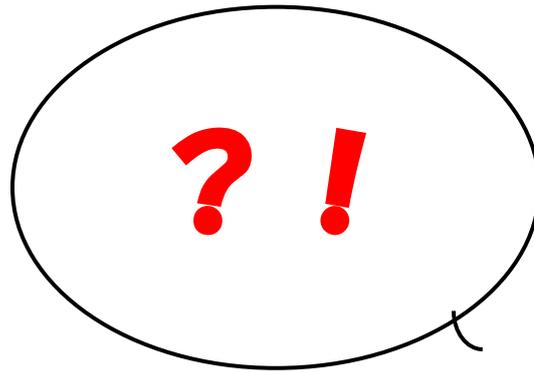


笑顔がこぼれるこの感じも
コンサート本番とは
また違う感じでイネ♪



ピアノはよく、「楽器の王様」と呼ばれますが、楽器が誕生したときから、現在の形ではなく、ピアノと言う楽器が今日の形にたどり着くまでには、長い年月と製造者の試行錯誤、そしてなにより大事なのは楽器の発展にはそれぞれの時代に活躍した「作曲家」と「演奏者」がいたこと、それがなければ今私たちが目にしているピアノには至っていなかったのだと言うピアノの歴史を学びました。





歴史を学んだかと思ったら・・・
白石氏がエプロン姿に！さあこの後は何が待っているのでしょうか？

正解は、ピアノの解体ショーでした☆



先生は専門家なのでOKですが、良い子は1人でまねしてはダメですよー？



ピアノの鍵盤を弾く(押す)と、どの様に動いて音が発弦されるのか・・・弾いている時は見えにくいのですが、この「ピアノ解体ショー」コーナーでは、実際に鍵盤を引き出してハンマーの動きを見る・実際に触れることができました。

「ピアノ解体ショー」の後は…んん？バスケットボールが出てきました！
ボールとピアノ…どんな繋がりがあるのでしょうか？



ピアノを弾く時、指でピアノの鍵盤を押して弾くイメージの方、多いのではないのでしょうか？
曲によってはその弾き方が合うものもありますが、押すだけではない、引く力と言うのが音色
に関係する一つのアクション(指の動き)なのだと言うことを、ボールと足踏み(行進)をす
ることで体感しました。ボールを床に置いた状態からドリブルまで持っていく、それはピアノ
の鍵盤を押す(ボールを床にたたきつける)のではなく、手を引くことでボールが跳ねてド
リブルができる、この手の動きはピアノを弾く際の指の動きのヒントになることが伝わりました。
足踏み(行進)も足を床に押しつけるのと、足を引いて行進するのとでは、足踏みの
音も違えば、曲調のような雰囲気まで変わりました。

言葉では伝わりにくいですが…
会場では「おお！？ちがう！！」という声があちらこちらから聞こえました！



コンサートとは違い、演奏だけではなく、ピアノの歴史や構造、奏法に関わることなど演奏者の間近で感じ・触れていただけたのではないのでしょうか？
また、直接演奏者の声（お話を）聞くことで、ピアノや音楽、演奏する事への真摯な姿勢・追求心を感じていただけたのではないのでしょうか。



今回参加してくれた子どもたちの中から将来のアーティストが生まれることを期待しながら、今後も事業を企画し実施していきたいと思えます。
ご協力頂いた皆様、心より感謝申し上げます。

